

2021年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究者育成費 研究成果報告書

【研究課題名】

「民設民営スタジアムの地域における役割の明確化」

【研究代表者氏名】

植野 準太

【所属】

政策・メディア研究科 後期博士課程2年

【指導教員名】

玉村 雅敏教授

【研究概要】

本研究の目的は、地方中小都市の民設民営スタジアムが建設された経緯を調査することである。そして、スタジアム建設における役割の明確化を行い、他のスタジアム建設に取り組む自治体やプロスポーツクラブなどに示唆を与えることである。

これまで日本のスタジアムは自治体が公共施設として多額の資金を捻出し、建設、管理を行ってきたが、2000年以降、指定管理者制度の制定により、民間事業者が運営を担い、PFI事業として建設し、スタジアム建設における役割が変化し始めている。そんな中、地方のプロスポーツクラブ自ら民設民営という形で、スタジアムを建設しているケースがある。建設に至った経緯について明らかにし、本事例を取り上げた先行研究がなく、今後の地方都市でスタジアム建設を検討している自治体やプロスポーツクラブにとって意義がある。

本研究では、地方中小都市においてクラブが自ら建設資金を捻出し、建設に至った事例について調査を行う。

【調査方法】

プロスポーツクラブが自ら資金を捻出し、スタジアムを建設した鳥取県米子市にある「チュウブYAJINスタジアム」、愛媛県今治市にある「ありがとうサービス 夢スタジアム」、宮崎県新富町にある「ユニリーバスタジアム」を研究対象とした。

調査においては、各市役所のスポーツ振興課、プロスポーツ担当者、そしてクラブにおけるスタジアム建設担当者にヒアリングを行った。また現地に行き、スタジアムや周辺地域についても調査を行った。



チュウブYAJIN スタジアム



ユニリーバスタジアム



【調査結果】

本調査では、民設ではあるものの、自治体も土地の無償貸与など支援を行っていることが明らかになった。「チュウブYAJINスタジアム」は、クラブ支援者から土地を借り、スタジアム建設費をクラブが捻出した。一般的にはスタジアム建設費は数十億から数百億かかると言われている中、約4億円で建設したことに注目された。ありがとうサービス. 夢スタジアムやユニリーバスタジアムは、このYAJINスタジアムを参考に、建設費用を抑え、Jリーグ参入が可能なスタジアム建設を行っていることも明らかになった。スタジアム建設に自治体から直接的な支援はなかったようだが、スタジアム運営においては、様々な自治体のイベントをスタジアムで実施するなど、地域活動を行っていることが明らかになった。

「ありがとうサービス. 夢スタジアム」は、土地の無償貸与を受け、スタジアム建設に着手している。建設に至った背景として、Jリーグ5部カテゴリに所属していたチームに、サッカー元日本代表監督であった岡田武史氏が会長に就任し、Jリーグクラブを目指すことを宣言した。当時、今治市には、Jリーグの試合ができるようなスタジアムがなかったため、スタジアム建設に着手する必要があった。今治市とクラブは協議を重ねた結果、クラブが自ら建設資金を捻出し、自治体による土地の無償貸与によってスタジアム建設を行った。

「ユニリーバスタジアム」は、宮崎県新富町が当時J4リーグに所属していたクラブを招致して、土地を無償貸与し、クラブが建設費を捻出して建設した。宮崎県下でJリーグ基準かつクラブを目指す運営が実現できそうなスタジアムを探していたクラブと、地域を活性化するための手段を探していた両者の思惑が一致して実現したスタジアムである。

3つの事例から、Jリーグが残してきた「地域活動」という歴史を自治体が理解しており、スタジアム建設においては、商工会などの後押しがあることで建設が進められたことがわかった。そして、クラブが建設資金を捻出すれば、スタジアム建設が可能になるわけではなく、自治体、住民からの理解を得ることも同時に取り組まなければならないことが調査から明らかになった。

【研究の成果】

スポーツ産業学会にて、今年度調査した結果を提出する予定である。現在、「地方中心都市におけるプロスポーツクラブによる民設民営スタジアム整備の要件について」というタイトルで執筆し、3月に提出予定である。

【次年度の研究について】

次年度も継続して、スタジアム調査に取り組む予定である。今回調査した新富町や米子市の他に、調査に行けなかった栃木県宇都宮市、そしてスタジアムが民設される鈴鹿市を対象にし、建設までの経緯を調査する。宇都宮市、鈴鹿市のスタジアムは、市民から建設反対運動が起きていることから、今年度調査したスタジアムと比較検証していくことも可能だと考えている。

【謝辞】

現地調査などの費用を本基金より捻出しました。

森泰吉郎記念研究振興基金へ本課題を採択して頂き感謝申し上げます。

この場を借りて感謝申し上げます。